

事業所名

児童デイサービス事業所あおば

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

15日

法人（事業所）理念		ともに学び ともに笑い ともに生きる							
支援方針		子ども一人ひとりの将来像をイメージし、生活の質を高める為の支援を提供します。 より充実した生活が送れるように、社会資源を活用した外出訓練を多く取り入れます。							
営業時間		学校あり（放課後）	9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	9時	0分	18時	0分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	関係機関と連携しながら健康状態の把握。意思表示が難しい子どもたちへの十分な観察・援助。 基本的な生活スキルの定着。定着に向けた個別スケジュール、自立課題の提供。特性を理解した上で、子どもたちが生活しやすい環境整備、配慮。							
	運動・感覚	基本的な生活動作に繋がるように、微細運動から粗大運動までを様々な感覚を活用し、ボディイメージを育む。 ダンスやサーキット等、身体を動かし心身のリフレッシュを目的とした活動の提供。							
	認知・行動	感覚や認知の特性を踏まえながら、様々な感覚を活用した課題による概念の習得。（色・形や大きさ・数や時間等） 個別のタイムスケジュールによる始まりや終わり、追加や変更、待つなどの習慣化。							
	言語 コミュニケーション	個々のコミュニケーションの特性・受け取り方に対する配慮。（絵カード表記等） ジェスチャーや絵カード等によるコミュニケーション手段を活用した支援。 興味関心を活用した自発的なコミュニケーションの促進。							
	人間関係 社会性	生活する中で、相手の気持ちを考える機会を設けたり、自分の気持ちのコントロールや折り合いがつけられるように支援を進める。（ソーシャルスキルトレーニング） 一人遊びからルールのある協同遊びへ繋げ、社会性を持てるように支援する。 信頼関係を築き、相談できる環境を整えることで情緒の安定を図る。							
家族支援		ご家庭や学校等、本人を取り巻く環境と連携を図りながら、相談援助を行う。 ご家庭の状況に応じて、利用日・利用時間の調整を行う。				移行支援		併用利用先との情報共有 移行先への情報提供	
地域支援・地域連携		必要に応じて、利用者の関係機関（相談支援事業所、学校、病院等）と連携を図り、相談や話し合いの場を設け、一貫した支援を進めていく。				職員の質の向上		内部研修（2ヶ月に一回） 外部研修	
主な行事等		季節ごとの行事（水遊び、遠足、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分等） その他（外出、買い物訓練、施設見学体験等）							